

青森市町会連合会発行

事務局

39号
7月

弘前市町会連合会視察記

五月三十日岩谷成田副会長と佐藤事務局長の三名
参加弘前副市長、市長補佐、局長、事務局長
副会長、町会長等十名出席、意見の交換が行われた

組織
副会長三名、22ブロックにわかれていた。

地正ブロックより理事一名、代議員二名選出
理事会の出席率はほぼ百パーセントと誇っている。
地正紅協の会長は、町会長以外の者が(民政委員)
になっている。町会長は会長と応援協力している。

負担金
一世帯八千円の町会連合会に納めている。

市の交付金
連合会へ事務補助費として二四二万円、町会へは
一世帯四万円交付、但、広報配達、行政連絡の
業務に打つ当然の措置としてうけとめている。

研修会
上政二ん談会は五十二年度、各ブロックで十五回ひ
りかれた。市側から市政二ん談会の甲入れが
あるという。

ゴミ清掃
ゴミ取扱は市で配布している。年一回地正で
ゴミのことについて座談会をひらいている。
とくに公園の花見時には、市職員が午前四時から
出勤、人出の前にはきれいに片づけた後、終わるようにして
いる。資源回収には、市でトシニ二万円補助している。

地区ブロックへの補助
連合会より一ブロック一万五千円補助している。
子とし合は二五六ある。研修は市で行っている。
総会経費は三三万円(連合会支分)

表彰
額ふちは市で負担している。

後記
五年以上理事をつとめて退任した者(連合会功労者)
三年以上町会長をつとめて退任した者(町会功労者)

とにかく組織がきちんと整備し、毎月理事会での決定
したことが、毎月地域ブロックの会議へ流され、情報は
流れなく単位町会へ伝達される仕組みである。
もう一つ感じたことは、青森の場合、地区社協の会長は
殆ど町会長で、日赤、共同募金、歳末助け合いとか
寄附金あつめの下請け仕事に苦勞して、町会本来の
機能がおろそかになっている。弘前副市長の
町会長のあり方は、うらやましいと思つた。
近年漸く部活動が動き、組織も整備されている。青森
はその点で、ほかの町会より進んでいるように思う。
市庁舎に入っているのび長所、短所をきいてみたが
とくに短所はなく、都合のよいところが多いようだった。

伸	言
町	連

大型町会と小型町会

それぞれ地域の事情があり一概にはいえないが
大型の場合には町会長―班長―隣組長―町民
とつながるから情報伝達を二手めにしないと、住民に
無関心派がふえる。しかしまとまるとパワーが大きいので
大きな仕事もできる。ミニ町会には町内皆顔みしり、
親睦関係が深い。事務局はよりまて回覧にして情報伝達
度が濃い。特別事情ない場合は二町会ニッポ世帯から
三ッポ世帯までが適当である。というのが一般町会長
の声である。

世帯数がふえつづけている町会には、次々と新町会を生み
つけている現実が、やはり町会規模の限界を示している
ものといえる。困るのは町内会に与党野党、主流派
反主流派を生んで争ったり、組織を政治に利用したり
選挙に利用したりする者があれば、それは町民を愚弄
するも甚だしいものである。平和な町内もそうならば
忽ち魑魅魍魎の町になりさがる。町内会だけは
津軽選挙の田舎芝居をこ免こおむりたものである。

町会長の職業しらべ

町会名簿作成のための資料から町会長の職業別
としらべた二五八名の回答を得たが次のようにわか
りか多彩である。

- 農業(45)が最高で無職(42)がこれに次ぐ
- 商業(34) 会社員(30) 組合会社 団体役員(20)
- 国鉄(15) 公務員(14) 団体職員(9)
- 加工、製造(6) 市議会議員(5) 不明(6)
- 不動産業(5) 建設(5) 船員(1)
- 事務所経営(2) 行政書士(2)
- 会社社長(2) 飲食店業(2) 旅館業(2)
- 店員(1) 正科医(1)

外、自衛隊勤務、神職、漁業、鉄工業、
幼稚園経営、写真業、和裁業、木工、
印刷業、各一名

未提出六五名ありますが、毎度のことだからこのため
町会名簿の作成ができなくて困っている。協力を
お願いします。

6月13日、総務部会
主要件、地区ブロック組織の整備について
6月30日
新任町会長研修会
主要件、町会事務について

7月より、ゴミの収集方法一部変わる。
一日5kg以上出す所は事業所用として、市の許可業者
と契約し、一般収集所へ出すことほでまなくなる。